

いずもファミリーサポートセンター

人と人をつなぎ、子どもに笑顔を

いずもファミリーサポートセンターのHPはこちら▶



ファミリーサポートセンターとは

「子育ての手助けをしてほしい人」と「子育てのお手伝いをしたい人」が会員となり、ファミリーサポートセンターが橋渡しをして、会員同士で子育てを支え合う有償ボランティア組織です。

援助内容の例

- 幼稚園、保育所（園）、児童クラブ、習い事などへの送り迎え
- 会員宅等での一時的な託児など

利用料

子ども1人につき30分あたり300円または400円（時間帯などにより異なります）

会員になるには

- 市内にお住まい、またはお勤めの人なら誰でも会員になります。
- まかせて会員／子どもが好きで子育てのお手伝いをしたい人（資格は問いませんが、救急救命法などの受講が必要です）
- おねがい会員／子育ての手助けをお願いしたい人（サポートの対象は小学6年生までです）
- どっちも会員／子育てのお手伝いをしたり、手助けを受けたり、両方したい人

まかせて会員大募集

送迎や託児などさまざまな内容のサポート依頼がありますが、サポートしていただける会員が大変不足しています。

「できる時にできることをやってみよう」という方、大歓迎です。

ご連絡お待ちしております。



おねがい会員さんの声

私（母）が、小学校のお兄ちゃんの学校行事に参加する時に、弟2人を預かってもらっています。2人はまかせて会員さんが大好きで、連れて行くと私の手をサッと離して家の中に入らせてもらっています。おやつにいただく特製の卵焼きもとても楽しみにしているようです。

おたずね・会員登録は

いずもファミリーサポートセンター

本部 塩冶町641-9 TEL30-1261

平田支部 平田町2112-1 TEL63-4466

斐川支部 斐川町上庄原1760-1 TEL73-7375

8:30～17:00(休み:土・日・祝日)

おいでよ！ 子育て支援センター

詳しくはこちら▶



出雲市内には10か所の子育て支援センターがあります。小学校就学前のお子さんとそのご家族であれば、どなたでも無料でご利用いただけます。子どもたちが健やかに喜びをもって成長できるよう、乳幼児とその保護者同士の交流の場を提供するとともに、子育てに関する相談の受付や、子育て情報の発信をしています。

各施設とも居心地の良い雰囲気づくりを心がけていますので、初めての方もぜひお気軽にお越しください。



子どもも保護者もリフレッシュできる行事を定期的開催しています。
(いずも子育て支援センター音楽あそび)

施設名	所在地	電話	施設名	所在地	電話
いずも子育て支援センター	塩冶町641-9	21-5772	たいしゃ子育て支援センター（大社行政センター内）	大社町杵築南1397-2	53-2666
ひらた子育て支援センター	平田町2112-1	63-3990	ひかわ子育て支援センター（まめなが一番館内）	斐川町上庄原1760-1	73-7375
さだ子育て支援センター（須佐保育所内）	佐田町須佐1146	84-0166	中央保育所「れもん組」	今市町828-2	21-0597
たき子育て支援センター（多伎こども園内）	多伎町小田50-5	86-2711	駅ナカ赤ちゃんルーム（アトネスいずも内）	駅北町10-3	21-1496
こりよう子育て支援センター（ハマナス保育園内）	湖陵町二部1745-2	43-2621	子育て支援センターはぐはぐ（県立大学出雲キャンパス内）	西林木町151	22-6570

おたずね／子ども政策課 TEL 21-6963 FAX 21-6413

多文化共生について考えてみよう!

出雲市には、令和7年(2025)1月末時点で5,016人、41か国・地域の外国人住民が暮らしており、外国人住民は職場のみならず、地域、学校等において身近な存在となっています。

本市では、多文化共生推進プランを策定し、「多様性を認めあい みんなでつくる 多文化共生のまち」をめざして、市民・団体・企業・行政等が一体となって取組を進めています。「多文化共生」とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認めあい、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことをいいます。

外国人住民も一緒に出雲市で暮らす仲間です。みんなで力をあわせながら、安心して暮らせるまちをつくっていきましょう。



私たちにできること



①声をかけてみよう

簡単な日本語であれば理解できる外国人住民は多いので、あいさつから始めてみましょう。

②相手を理解しよう

外国人の出身国・地域の習慣や文化など、同じ部分や違う部分を知ることでお互いの理解が深まります。

③一緒に活動してみよう

外国人住民と交流できるイベントも開催されていますので、参加し交流してみましょう。

市の取組

本市では令和7年から11年度までの第3期出雲市多文化共生推進プランを策定しました。この計画を実現するため、「コミュニケーション促進」「安心して暮らせる環境づくり」「意識啓発と社会参画」「多文化共生社会実現のための体制整備」の4つの柱を掲げ、特に次の項目を重点的に取り組みます。

- ①働くための環境整備
- ②日本語教室の充実
- ③やさしい日本語の活用促進
- ④地域社会での多文化共生の意識啓発



数値で見る出雲市の外国人住民

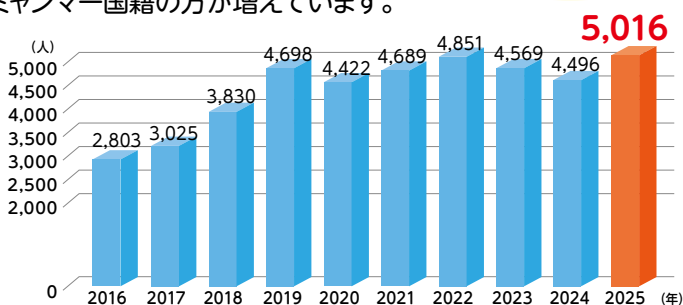
※1月末時点

市内に住む外国人住民の数と推移

外国人住民は、約10年前の約1.8倍となっています。近年はベトナムやミャンマー国籍の方が増えています。

市民全体のうち外国人住民が占める割合

2.9%



市内に住む外国人住民国籍トップ3

(人) 3,143

ブラジルがトップで全体の約63%を占め、ベトナム、フィリピンと続きます。

535



ブラジル

284



ベトナム

284



フィリピン